



# LETTERS

2021年7月発行

公益財団法人  
佐倉国際交流基金

〒285-0025  
佐倉市鏑木町198番地2  
TEL・FAX 043-484-6326

## 2021年度スピーチコンテスト開催にむけて

2020年度はコロナ禍のため、スピーチコンテスト中止を余儀なくされました。  
2021年度スピーチコンテスト開催へ向けた思いを、運営委員長の谷口さんに聞きました。

2021年3月、スピーチコンテスト運営員会は1年振りに始動しました。昨年は新型コロナウイルスの流行によって教育現場は大きな影響を受けました。佐倉市にお住まいのLetters愛読者のみなさまもお子さんやお孫さん、コミュニティの子ども達や学校の様子から実体験された方が多くいらしたのではないのでしょうか。3月から初夏には、登下校する子どもの気配も、午後の公園の賑わいも途絶えました。一転、真夏の7~8月に登校して勉強の遅れを取り戻さなければならない子供たちの姿がありました。佐倉スピーチコンテストは例年10月に開催されますが、学校の年間スケジュールが大幅に変更され、小中学生の心身両面の負担が大きいこと、集会の人数が制限されていることから2020年のコンテストをキャンセルしなければなりませんでした。

参加者数の推移



さて、今年のコンテストは**10月24日(日)ミレニアムセンター佐倉**にて開催予定です。感染予防対策を施しながら安全に実施するための準備をしています。昨年同様、集会の人数制限があるので参加者と観客、スタッフの数を絞る工夫が必要です。参加者数の話題が出たので、少々コンテストの歴史を振り返ると図のように出場者数が減っていることがわかり

ります(参加者の記録があるのは2011年より)。減少の原因はそもそも若者人口の減少、英語学習が小学校で始まったことはもとより、習い事やネット環境の発達で多様化していること、また大学生の留学者数が減っていることに連動して、青少年の内向き志向も影響しているかもしれません。30年の伝統あるスピーチコンテストの持続に何か妙案はないかと思案を重ねていますが、たった2人の運営委員と事務局スタッフの力添えでも乗り越えられない社会の過渡期に直面した困難さを感じています。私は1997年に佐倉市に越してきました。翌年たまたま長女が入学した小学校で、印旛地区内初(おそらく)の英語学習が導入され、佐倉市は地域の国際理解教育の先駆者となっていきます。子育て世帯が増え、小中学校が新設され、英語学習ブームが起ころ、スピーチコンテストの参加者も増え・・・上げ潮の時代でした。「良い時代」に子育てをし、英語教育に関わった者として恩返ししたい、と個人的に考えます。と同時に、市内の若い人々に英語を使う場を提供することによって、SIEFの多様性：文大・English Salon⇒大人の知的交流、日本語講座⇒海外から来た人々の学習と交流、というそれぞれの存在意義と価値を高めていく一端を担っているとの思いも強くしています。(スピーチコンテスト運営員長 谷口裕子)



## 佐倉市国際文化大学公開講座



2021年度第1回佐倉市国際文化大学公開講座が2021年6月12日(土)市民音楽ホールにて、開催されました。

2020年度はコロナ禍で感染拡大防止のため中止となりましたが、今年は感染予防対策を厳重にし、講師に大橋 弘先生(東京大学公共政策大学院 院長 教授)をお迎えし、「ポストコロナ時代の産業政策の論点」という講演テーマでお話しいただきました。来場した受講者は熱心にメモを取り、集中して受講していました。

講演後は限られた時間の中で受講者が質問し、大橋先生にお答えいただきました。その様子を見て受講者のみなさんは「知的な好奇心」をずっと持ち続けている「学びたい・学び続けたい」方々ばかりなのだ改めて感じました。佐倉市国際文化大学が創立30周年を過ぎてなお、各分野で一流の専門家を講師に多様な講義内容で開催できるのは、熱心な受講生のみなさんと運営を支えてくださっている運営スタッフのみなさんあってのことなのだ再認識しました。

次回は下記の日程で公開講座を開催予定です。

みなさまのお越しをお待ちしております。



### 佐倉市国際文化大学 第2回公開講座

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 開催日時 | 2021年9月11日(土) 13時30分～                 |
| 会場   | 市民音楽ホール                               |
| 内容   | 「中国とどう向き合うか、中国の国家戦略を解き明かす」            |
| 講師   | 加藤 千洋氏(ジャーナリスト、平安女学院大学客員教授 元朝日新聞編集委員) |

## ご案内



#### 【企画展示/特集展示】

- ・ **特集展示「黄雀文庫所蔵 鯨絵のイメージーション」**  
2021年7月13日(火)～9月5日(日)
  - ・ **第4展示室 特集展示「エビスのせかい」**  
2021年7月27日(火)～2022年1月10日(月・祝)
  - ・ **企画展示「学びの歴史像-わたりあう近代-」**  
2021年10月12日(火)～12月12日(日)
- 【くらしの植物苑】
- ・ **くらしの植物苑 特別企画「伝統の朝顔」**  
2021年8月3日(火)～9月5日(日)

\*最新情報は、HP等でご確認下さい。

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp>

<コレクション Viewpoint>

「クリストとジャンヌ＝クロード＝包む、覆う、積み上げる」

昨年5月に世を去ったクリストの小企画展をコレクション展示の一室で開催

期 間 : 2021年7月3日(土)～10月3日(日)

開館時間 : 午前10時30分～午後4時(入館は午後3時30分まで)

休館日 : 月曜日(祝日の場合は、翌日が休館日)

\*最新情報はDIC川村記念美術館HPでご確認ください。

ホームページ <https://kawamura-museum.dic.co.jp>



## 外国人のための日本語講座

市内に在住・在勤・在学の日本語が得意ではない外国人の方のために、日本語講座を開催しています。あなたの身近にいる外国人の方にお知らせください。

### [大人向け]

- ・志津コミュニティセンター 毎木曜日(午前・午後)
- ・ミレニアムセンター佐倉 毎金曜日(夜)・ミレニアムセンター佐倉 隔週土曜日
- ・佐倉中央公民館 毎日曜日(午前)

### [小中学生向け]

- ・志津公民館 毎水曜日(夕方)
- ・千代田染井野ふれあいセンター 毎土曜日(午前)

## 賛助会員

公益財団法人 佐倉国際交流基金では、国際交流活動に賛同し、それを応援する賛助会員を募集しています。賛助会員には、次のような特典があり、国際交流活動に参加するチャンスもあります。会費は、公益財団法人 佐倉国際交流基金の活動資金として利用されます。多くの法人、団体、市民の皆様に賛助会員として、佐倉国際交流基金をご支援いただいています。

### 会員特典

- ・佐倉市の国際交流活動についての情報「SIEF Letters」の郵送
- ・佐倉国際交流基金(SIEF)主催のイベントの開催詳細情報をメールでご連絡
- ・賛助会員には、次のような割引制度があります。(個人会員のみ)



1. DIC川村記念美術館入館料の割引(団体料金)
2. 市民音楽ホール主催のコンサートチケット割引(10%)
3. 国立歴史民俗博物館入場料の割引(団体料金)

### 会費(年額)

|         |    |         |             |    |        |
|---------|----|---------|-------------|----|--------|
| 団体・法人会員 | 1口 | 10,000円 | 外国人会員       | 1口 | 1,000円 |
| 個人会員    | 1口 | 2,000円  | 学生会員(22歳未満) | 1口 | 1,000円 |

## 外国人のための生活相談

市内に在住する外国人の方の生活に関する相談を受けております。  
お気軽に下記まで、お電話、メール、或いはお立寄り下さい。  
状況によっては、行政などとの連携のもと、相談員が支援活動を実施しています。  
**予約が必要となります。**

対応可能言語： **スペイン語・英語・中国語**  
時間： 10:00～16:00 場所：事務局 他  
(電話・FAX 043-484-6326 メール info@sief.jp)



## 助 成 金

佐倉国際交流基金が開設された昭和 63 年（1988 年）から助成金制度があります。  
これは、国際交流・親善・国際理解を促進し、多文化共生社会の実現に役立つと判断される、佐倉市の諸団体、諸グループの活動に対し、助成金を支給するものです。佐倉市民や佐倉市の団体の実施する国際相互理解・交流・親善活動の向上を図るためのもので、地域の国際相互理解の振興に寄与することを目指しています。



残念ながら、昨今の金利動向の影響を受けて、基本財産運用益の大幅な減少に直面している交流基金としては、助成金として支給する金額を年々少なくせざるを得ない状況が続いていますが、今後も助成金を通して佐倉市民および団体の活動を応援していきたいと考えています。

## 事業・収支報告

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 国際相互理解推進事業     | 3 外国人支援事業     |
| ○公開講演会         | ○外国人のための日本語講座 |
| ○佐倉市国際文化大学     | ○外国人のための生活相談  |
| ○佐倉国際スピーチコンテスト | 4 その他附帯事業     |
| ○イングリッシュサロン    | ○国際交流ボランティア活動 |
| 2 国際交流活動支援事業   | ○後援事業         |
| ○国際交流団体へ助成     | ○国際交流活動等情報提供  |

### ◇2020 年度決算のあらまし（佐倉市よりの受託事業を含む）

| 収入の部     |           | 支出の部        |           |
|----------|-----------|-------------|-----------|
| 基本財産運用収入 | 2,954,072 | 事業費         | 6,516,002 |
| 会費収入     | 491,000   | 管理費         | 1,623,753 |
| 事業収入     | 4,184,800 | 経常費用計       | 8,139,755 |
| 雑収入      | 6,071     |             |           |
| 寄附金 他    | 376       |             |           |
| 経常収益計    | 7,636,319 | 当期一般正味財産増減額 | △503,436  |

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF) 関口・村瀬・松田  
〒285-0025 佐倉市鎗木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F  
電話・Fax 043-484-6326 (月～金 9:00～17:00)  
HP: <http://www.sief.jp> Email: [info@sief.jp](mailto:info@sief.jp)